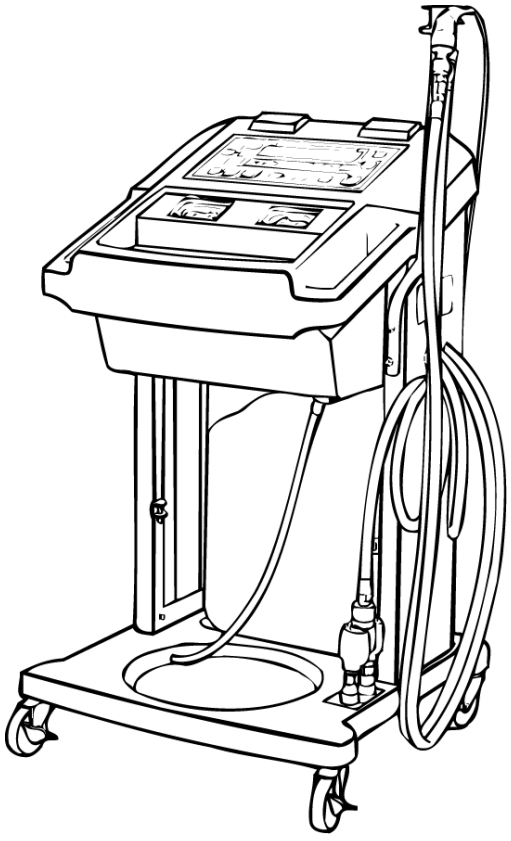
yamada

Doc. No.	AUT 039C-08

取 扱 説 明 書

オートマチックフルードチェンジャー

AFC-9000S　MODEL No.881068



⚠警　告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

－ はじめに

本書はお使いになる本機が故障なく充分に、皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本機の操作は行わないでください。
特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。
なお、ご使用中に不明な点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売元、又は裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

★ 取扱説明書を汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売元か弊社営業所からご購入いただき保管してください。

－ 使用目的

本機は、オートマチックトランスミッションフルード（以下 A.T.F.という）の交換機です。循環モード・交互モード・CTV モードの各モードにより、複雑なミッションオイルの交換作業を簡単なボタン操作により全自動で行うことができます。さらに、音声によるガイドやシグナルライトによる交換状況の表示により、誤操作の心配なく使用することができます。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ 警告：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、又は重症を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

－ 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

- 本機は、高温の廃油を取扱うことがあります。充分に注意しヤケドを負わない様にしてください。
- 使用するオイルによっては、皮膚に触れると炎症を起こす危険があります。オイルメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。

⚠ 注意

- 本機は、A.T.F.及びエンジンオイル専用です。これ以外のブレーキ液、ガソリン、軽油などのゴムを侵す液剤、及び揮発性の高い液体には使用できません。機器の故障の原因になるばかりでなく、発火などの危険性があります。
- 本機にはAC100V以外の電源を使用しないでください。本機の故障、及び感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。
- 本機で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。廃油の処理は、適用される法令に従って処理してください。

- 本機の運転中、または保管する場合には、必ずキャスターブレーキをロックしてください。ロックをしないで斜面に置いた本機が動き出し、転倒して施設を汚染したり、車両に損傷を与えた場合は使用者側の責任となります。
- 機体本体、各種ノズル、新油缶および廃油タンクは常に清潔に取扱ってください。管理が悪いと交換するユーザー車両にゴミなどが混入し、車両故障の原因となります。
- 誤動作が多い、モーターが異音を発生している。この様な場合は、すぐさま電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- 本機を、直射日光に長時間さらさないでください。樹脂部品が熱変形を起こすおそれがあります。
- オイル交換をする前には車両の取扱説明書を熟読し、適切な交換方法を選択してください。
- 自動交換終了後は必ずレベルゲージで油量を確認し、過不足があれば調整を行ってください

NOTE

● A.T.F.およびエンジンオイルの温度が低いと、フレキシブルノズルでの吸込みが悪い場合があります。充分に暖機運転を行い、油温を上昇させてから抜取りを行ってください。

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意事項
- 目次

1. 各部の名称
1-1. 各部の名称 1
1-2. 操作パネル 2
1-3. 梱包内容 2
2. 交換作業前の準備
2-1. 新油缶のセット 3
2-2. 廃油タンクの取出し・セット 4
2-3. フレキシブルノズルの接続 4
2-4.配置 5
3. 使用方法
3-1. 使用上の注意事項 6
3-2. 運転準備 6
3-3. フレキシブルノズルの挿入および注意 7
3-4. 交換用ノズルの差込に注意する車両 7
3-5. 操作方法
3-5-1. 自動モード 8
■循環モード 8
■交互モード 9
■CVT モード 10
3-5-2. 手動モード 11
■手動交換 1(交換量設定) 11
■手動交換 2(手動) 12
3-5-3. 機能 13
■クリーニング 13
■廃油排出 14
■新油補給 15
■設定 16
3-5-4. その他の機能 18
4. 保守・点検
4-1. 保守 19
4-2. エラーコード
■EO1【抜取異常】 20
■EO2【供給流量不足】【抜取流量不足】 21
■EO3【抜取不可】 22
■EO4【抜取異常】 23
■EO5【設定エラー】 24
■EO7【抜取流量不足】 25
■EO8【抜取不可】 26
4-3. 故障の原因とその対策 27
5. 主要寸法 28
6. 仕様 29
7 .部品リスト 30
7-1. オートマチックフルードチェンジャー(881068) 30
7-2. カバー組立(853999) 31
7-3. フレーム組立(854000) 32
7-4. ホース組立(803619) 33
7-5. ノズル本体組立(803132) 34
7-6. 廃油タンク組立(804512) 35

7-7. ベース組立(804514) …… 36
7-8. 配管組立(804515) …… 37
7-9. オイルセンサー組立(804518) …… 38
8. 別売りオプションアタッチメント …… 39
9. 不具合内容 FAX シート …… 40
10. 製品保証登録 FAX シート …… 41
11. 保証規定

1. 各部の名称

1-1. 各部の名称

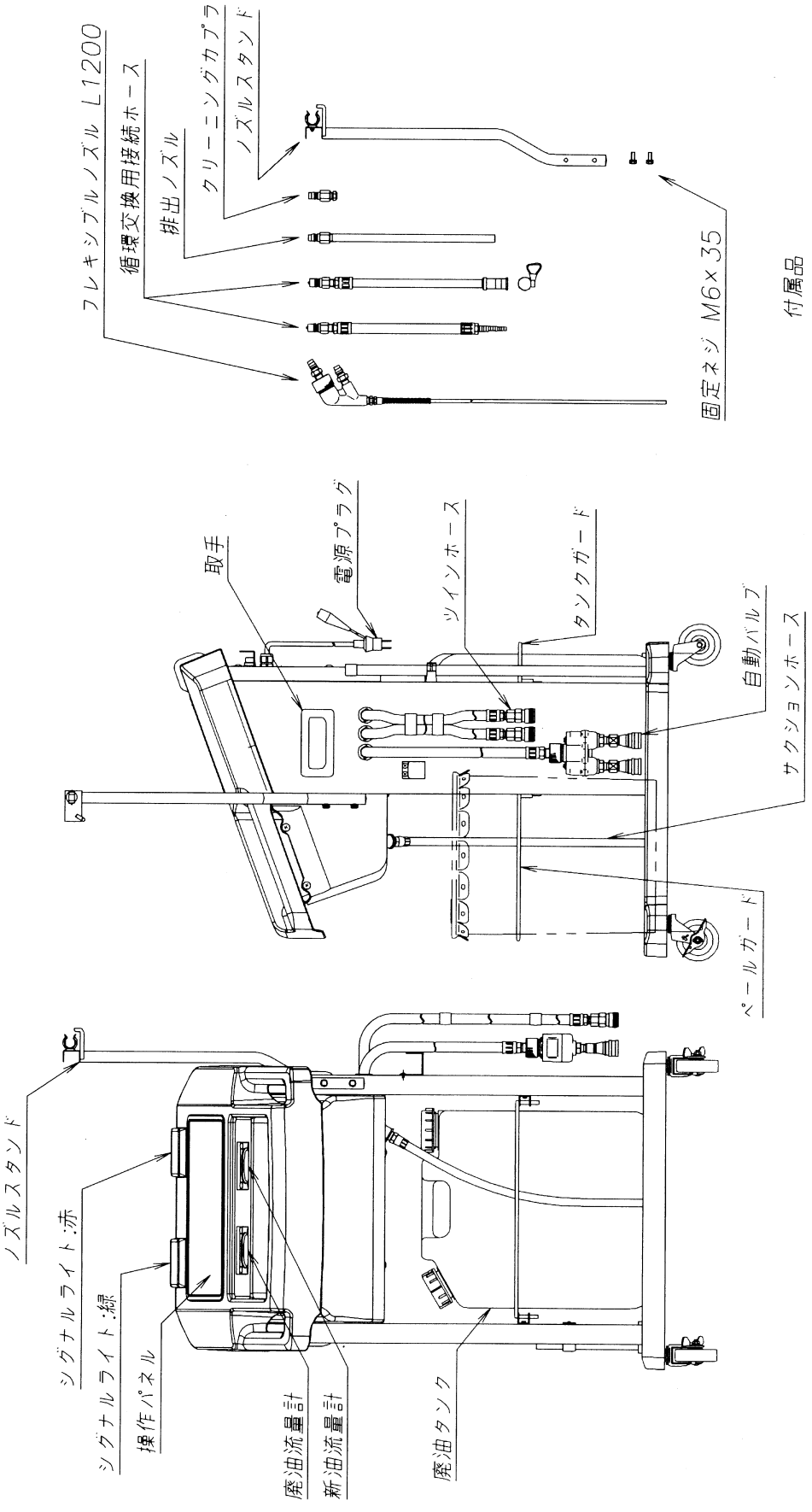
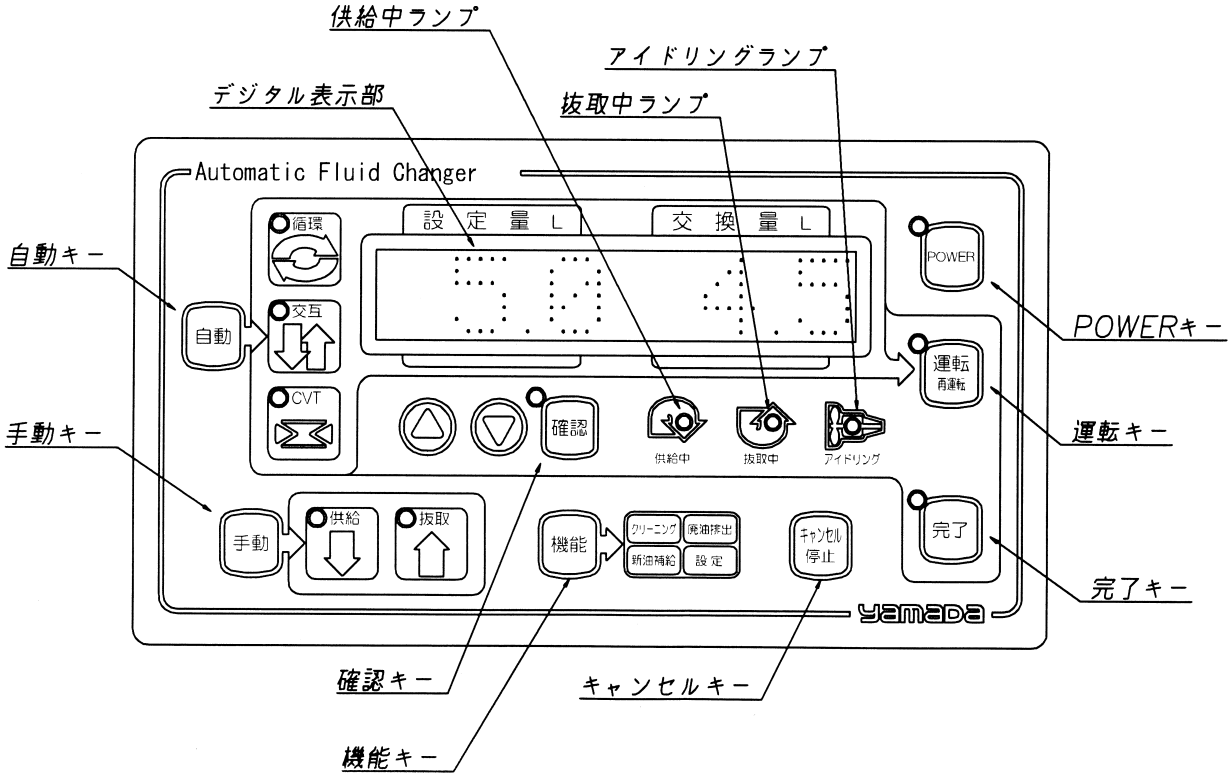


Fig.1-1

1-2. 操作パネル



1-3. 梱包内容 （ P.1 Fig.1-1 参照 ）

オイルチェンジャー(本機)・フレキシブルノズルL1200・循環交換用接続ホース2本・排出ノズル・クリーニングカプラ・ノズルスタンド・固定ネジ(M6×35、ノズルスタンド用)2本

取扱説明書・取扱説明CD

⚠ 注 意
・本機を持ち上げる際は、本体サイドにある取手を持って2人以上で行い、本機を倒したり、落としたりしないでください。

1) トラックからの荷降しにはリフターを使用してください。

2) 木枠梱包を取外し、サイドの取手を掴み、本機をベースから降ろしてください。

3) 外観上の傷、破損がないか確認してください。

4) 付属品が欠品なく揃っているか確認してください。

5) 電源プラグをAC100Vコンセントにつないでください。正常の場合、ブザーが鳴り、シグナルライトが点灯します。

2. 交換作業前の準備

⚠ 注 意
・本機は、A.T.F.およびエンジンオイル専用です。これ以外のブレーキ液、ガソリン、軽油などのゴムを侵す液剤および揮発性の高い液体には使用できません。機器の故障の原因になるばかりでなく、発火などの危険性があります。 ・本機を運転中、または保管する場合には、必ずキャスターブレーキをロックしてください。ロックをしないで斜面に置いた本機が動き出し、転倒して施設を汚染したり、車両に損傷を与えた場合は使用者側の責任となります。 ・本機、ノズル、新油缶、廃油タンク、は常に清潔に取扱ってください。管理が悪いと交換するユーザ車両にゴミなどが混入し、車両故障の原因となります。

NOTE

A.T.F.及びエンジンオイルの温度が低いと、フレキシブルノズルでの吸込みが悪い場合があります。充分に暖機運転を行い、油温を上昇させてから抜取りを行ってください。(一般的な A.T.F. 、エンジンオイルで 50～80℃が目安です。)

2-1. 新油缶のセット

⚠ 注 意
・新油缶を交換される場合、各種の潤滑油が保管されている中から油種の間違いのないように再確認してセットしてください。 ・新油缶をセットする際、サクションホースに泥、ゴミなどを付着させないように注意してください。 ・ペールガードは必ず取付けてください。新油缶が転倒しオイルで施設を汚染させる危険があります。

1) サクションホースを取出して新油缶に差し込んでください。
(Fig.2-1)

2) 新油缶を本機内にセットしてください。

3) サクションホースが新油缶内で折れ曲がっていないことを確認してください。

4) ペールガードをセットしてください。

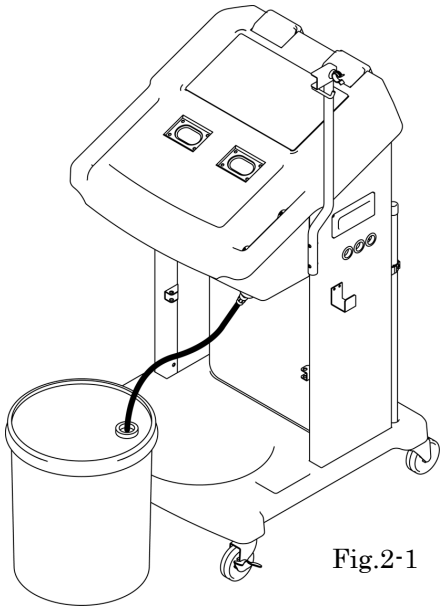


Fig.2-1

NOTE

・別売りのペールカバーをペール缶に取付けることで、ペール缶を交換することなくドラム缶などから新油を補給することが可能です。

2-2. 廃油タンクの取出し・セット

⚠ 注 意

- ・本機で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。廃油の処理は、適用される法令に従って処理してください。
- ・廃油上限センサーは必ず手で取外してください。無理に引抜くとコネクタの破損やコードが断線します。
- ・廃油タンクをセットする際、ホースに泥、ゴミなどを付着させないように注意してください。
- ・タンクガードは必ず取付けてください。新油缶が転倒しオイルで施設を汚染させる危険があります。

1) 本機背面のタンクガードを取外し、ホースを廃油タンクより抜取ってください。
2) 廃油上限センサーコードをコネクタより必ず取外してください。(Fig. 2 -2)
(コードを付けたままタンクを取り外すと断線するおそれがあります。)
3) 廃油タンクキャップを外し、廃油を所定の廃油槽へ捨ててください。
4) 廃油タンクを本機ベースにセットし、ホースを差込んでください。
5) 廃油上限センサーをコネクタへ接続してください。
(接続時、センサーコード先端のプラグのダボを手前に向けてセットしてください。)
6) タンクガードを取付けてください。

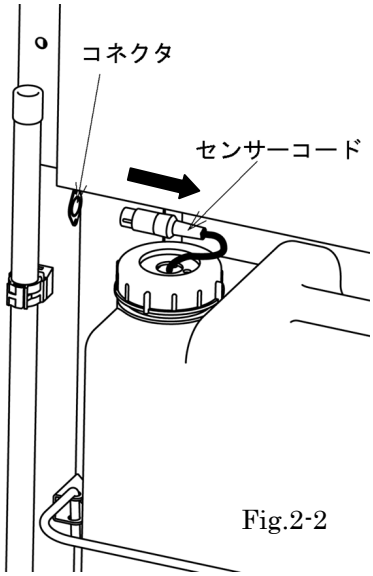


Fig.2-2

NOTE
後述の操作(P17 運転中に廃油タンクが満量になった場合)で、廃油タンクを取出すことなく、廃油排出を行うことも出来ます。

2-3. フレキシブルノズルの接続

⚠ 注 意

ノズルとホースを接続する際、新油側ホース(赤側)・廃油側ホース(黒側)を間違えないようにしてください。正しく接続されていないと、ゴミなどが入り込み、本機の故障の原因になります。

(Fig.2-3)

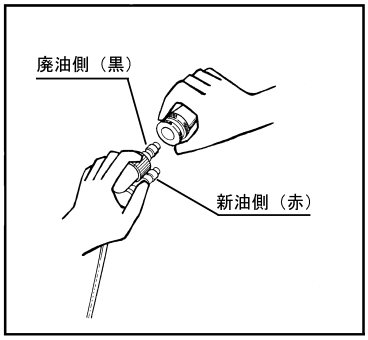


Fig.2-3

1) ホース側カプラの外側リングを手前に引っ張ってください。
2) ノズル側コネクタをカプラに差込み、リングを元の位置に戻すとコネクタが固定されます。
3) ホースとノズルを引張り外れないことを確認してください。

2-4. 配置

⚠ 注 意

・本機の運転中には、必ず平らな場所でキャスターブレーキをロックしてください。場所によっては、動き出して思わぬ物的損害事故を招くことがあります。

・本機には AC100V 以外の電源を使用しないでください。本機の故障、および感電・火災などによる傷害を起こす危険性があります。

・本機を直射日光に長時間さらさないでください。樹脂部品が熱変形を起すおそれがあります。

1） 車両を水平な場所に停止させ、サイドブレーキを一杯に引き、制動が充分であることを確認してください。

2） 車両脇に本機を移動させ、キャスターブレーキをロックしてください。（Fig. 2- 4）

3） AC100V コンセントに電源コードを接続し、ブザーが鳴ることを確認してください。

4） 交換作業を行う前に、必ず車両のレベルゲージで油量の確認をしてください。

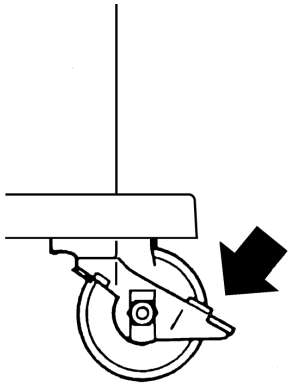


Fig.2-4

3. 使用方法

3-1. 使用上の注意事項

⚠ 注 意

- ・4WD 車、他、車種によってはオイルを指定している場合がありますので、車両の取扱説明書で確認してください。(指定されている A.T.F.以外のオイルを使用しますと、ミッションなどの故障の原因になります。)
- ・一部車種によってはノズルホルダを使用する場合があります。販売店または弊社営業所にお問い合わせください。(ホンダ等、一部の車種「縦置きエンジン」は、レベルゲージが短く、ノズルが斜めに挿入されることがあります。この場合、ノズルの先端が内部の回転部に当たって破損の原因になります。これらの車種の A.T.F. 交換を行うときは、必ずノズルホルダを使用してください。)
- ・作業終了後は、必ずレベルゲージで油量を確認してください。(交換作業の終了後は、必ずその車のレベルゲージで油量を確認して過不足のないようにしてください。油量は、多過ぎても少な過ぎてもミッションを痛める原因になりますので注意してください。)

3-2. 運転準備

⚠ 注 意

- ・車種によっては、一度エンジンを切ってから油量を測る車種もありますのでご注意ください。
- ・トランスミッション内にゴミの混入を防止するために、レベルゲージは完全に差込んでください。

1) シフトレバーを“P”位置にして、アイドリング運転を 10～15 分ぐらい行い、油温を上げてください。(50～80℃) (Fig. 3-1)
また、CVT 車は走行を行ってください。

2) アイドリング状態にして、ブレーキングペダルを踏みながらシフトレバーを“P”～“L”まで各レンジを一巡した後、“N”レンジにしてください。

3) そのままの状態でレベルゲージを抜き、ウエスなどで一度拭取って、再度油量を測ってください。

4) 走行直後のトランスミッションの油温が高い時は、レベルゲージの HOT 側を、エンジン回転後すぐの場合は COLD 側を見て測定し、LOW と FULL の目盛りの間であれば正常です。
この時点での油量点検は、交換時に於いての給油量と回収量の差を見て、規定給油量の目安とするために行います。(Fig. 3-2)

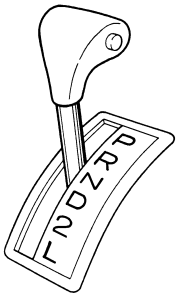
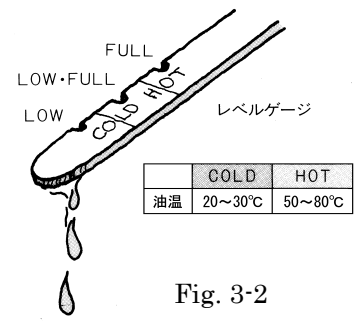


Fig.3-1



	COLD	HOT
油温	20～30℃	50～80℃

Fig. 3-2

3-3. フレキシブルノズルの挿入および注意

ノズルをレベルゲージ穴にゆっくりと確実に挿入してください。(Fig. 3-3)

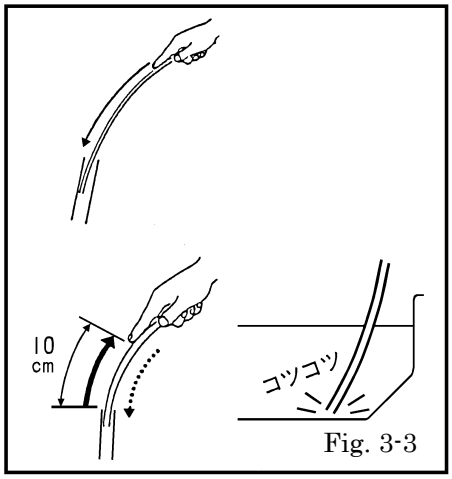


Fig. 3-3

NOTE

- ・絶対に無理には押込まないでください。途中で止まった場合は、少し戻してからゆっくり回しながら押入れてください。
- ・オイルゲージの長さから、ノズルの挿入深さを判断してください。
- ・当たりがあったら止めてください。
- ・当たりがしない場合は、10cm 位引抜いて再度ゆっくり押込んでください。
- ・抜取りの出来ない車両の場合ノズルの差込みに注意してください。車両については、下記を参照してください。

3-4. 交換用ノズルの差込みに注意する車両

ホンダ系一部の車種に於いては、ノズルホルダを別途、ご購入してください。

3-5. 操作方法　＊(*“斜字体”*の部分は自動作動の状態を説明しています。)

3-5-1. 自動モード

■循環モード

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴ります)

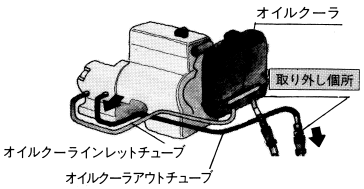
⇩

② POWER キーを押してください。

⇩

③ 自動キーを 1 回押し、

循環モードを選択してください。



⇩

④ 交換量を△▽キーで設定し、確認キーを押してください。

音声 1 …ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。

音声 2 …オイルクーララインに
接続ホースを取付けてください。

確認キーを押し続ける(2 秒間)と「クイックモード」にセットされます。

クイックモードの場合

デジタル表示…「クイック」と表示されます。

音声 1 …ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。

音声 2 …オイルクーララインに接続ホースを取付けてください。

音声 3 …エンジンのアイドリングを開始してください。

⇩

⑤ フレキシブルノズルをレベルゲージ穴に
セットし、自動バルブを接続してください。

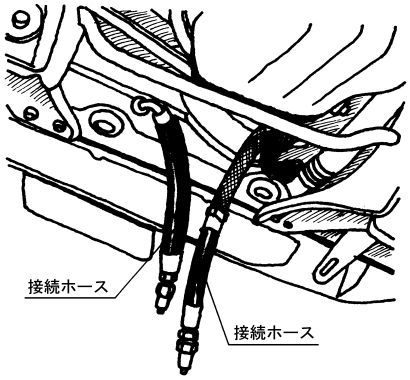
⇩

⑥ 運転キーを押してください。

「クイックモード」にセットされている場合は
⑩より作業が開始されます。

⇩

⑦ ***オイルパン内より全ての廃油が抜取られる。***



⇩

⑧ ***⑦+チェック分の新油を供給する。***

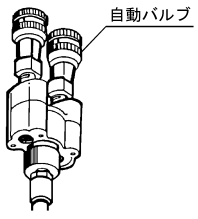
⇩

⑨ 音声…エンジンのアイドリングを開始してください。

エンジンのアイドリングを開始してください。

⇩

⑩ ***同量制御チェック(オイルクーララインの流量を確認)。***



⇩

⑪ ***同量制御(オイルクーララインよりオイルを抜取ながら、同量の新油を供給する)。***

⇩

⑫ ***残り時間がおよそ 30 秒でシグナルライト“青”が点滅(運転時は点灯)。***

⇩

⑬ 供給量および抜取量が設定した交換量に達した時点で終了です。

音声…エンジンのアイドリングを停止してください。

エンジンのアイドリングを停止してください。

⇩

⑭ レベルゲージを確認し、過不足があった場合微調整を行ってください。

■交互モード

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴ります)

② POWER キーを押してください。

③ 自動キーを 2 回押して、

交互モードを選択してください。

④ 交換量を△▽キーで設定し、確認キーを押してください。

音声 1 …ノズルをレベルゲージ穴に
確実に入れてください。

音声 2 …エンジンのアイドリングを
開始してください。

軽自動車の場合、そのまま新油を供給するとオイルパンからオイルが溢れてしまうことがあります。
そのため、「軽自動車モード」では、最初に供給する前にオイルパンからオイルを抜取っています。

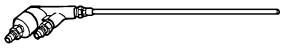
確認キーを押し続ける(2秒間)と「軽自動車モード」にセットされます。

軽自動車の場合

デジタル表示…「ケイジドウシャ」表示

音声 1 …ノズルをレベルゲージ穴に
確実に入れてください

音声 2 …エンジンのアイドリングを
開始してください



⑤ フレキシブルノズルをレベルゲージ穴にセットし、
エンジンのアイドリングを開始してください。

⑥ 運転キーを押してください。

⑦ *一定量(P.16 設定 P02 最初に抜き取る量の変更が可能)の廃油を抜取る。*
(軽自動車モードのみ)

⑧ *一定量の新油を供給する。*

⑨ *一定時間待機。*

⑩ *一定量の廃油を抜取る。*

⑪ *⑧～⑩を繰り返す。*

⑫ *残り時間がおよそ 30 秒でシグナルライト"青"が点滅*

⑬ 設定した交換量に達した時点で終了です。

音声 …エンジンのアイドリングを停止してください。

エンジンのアイドリングを停止してください。

⑭ レベルゲージを確認し、過不足があった場合微調整を行ってください。

交換量の設定による交互交換運転回数および待機時間

設定量	一回の交換量	交換回数	待機時間 *	全交換時間 **
3 L	600 mL	5 回	10 秒	約 4 分
4 L	800 mL	5 回	10 秒	約 5 分
5 L 以上	1000 mL	5 回(5 L 設定時)	15 秒	約 6 分 30 秒～

＊P.16 設定　P04 待機時間の変更可能。

** A.T.F.新油温度 20℃の場合(オイルの種類および温度条件によって、交換時間は変化しますので、目安としてご利用ください)。

■ＣＶＴモード

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

② POWER キーを押してください。

③ 自動キーを 3 回押し、CVTモードを選択してください。

④ 確認キーを押してください。

音声 …ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。

(確認キーを押し続ける(約2秒間)と「セミオートモード」にセットされます。)

⑤ フレキシブルノズルをレベルゲージ穴にセットしてください。

⑥ 運転キーを押してください。

⑦ ***オイルパンが空になるまで廃油を抜取る。***　　***<u>通常モードの時</u>は自動的に⑩の作動へ移行***

⑧ ***新油供給ランプと完了キーが点滅する。(セミオートモードの場合のみ)***

⑨ 終了したい場合は完了キーを押してください。

抜取ったオイルと同量の新油を供給したい場合は手動選択キーを押し、続けて運転キーを押してください。

⑩ ***廃油抜取量と同量の新油を供給する。***

⑪ ***残り時間がおよそ 30 秒でシグナルライト"青"が点滅***

⑫ レベルゲージを確認し、過不足があった場合微調整を行ってください。

セミオートモードの場合
デジタル表示…「セミオート」と表示されます。
音声 …ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。

3-5-2. 手動モード

■手動交換1(交換量設定)

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

⇩

② POWER キーを押してください。

⇩

③ 手動キーを 1 回押し

手動供給

を、 または 2 回押し

手動抜取

を選択してください。

⇩

④ 交換量を△▽キーで設定し、確認キーを押してください。

設定量が「0.5」以上(数字)表示のとき。

⇩

⑤ フレキシブルノズルをレベルゲージ穴にセットしてください。

⇩

⑥ 運転キーを押してください。

⇩

⑦ ***新油が供給(または廃油が抜取り)される。***

⇩

⑧ ***残り時間がおよそ 30 秒でシグナルライト“青”が点滅***

⇩

⑨ 設定した交換量に達した時点で終了です。

(廃油抜取時は、設定量が抜き取られたか、またはオイルパンの廃油が空になった時点です。)

■手動交換2(手動)

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

② POWER キーを押してください。

③ 手動キーを 1 回押し

手動供給

を、 または 2 回押し

手動抜取

を選択してください。

④ 交換量を設定しないで(デジタル表示「－－－」)、確認キーを押してください。

設定量が「－－－」表示のとき。

⑤ フレキシブルノズルをレベルゲージ穴にセットしてください。

⑥ 運転キーを押し続けてください。

⑦ 運転キーを押している間だけ供給(抜取)されます。

⑧ 運転キーを離すと供給(抜取)が停止します。
(再び押し続けることで供給(抜取)を行うことができます。)

3-5-3. 機能

■*クリーニング*

新油ホース・配管内の新油を新油缶に戻します。新油の種類を交換するときに無駄が少なくなります。

① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

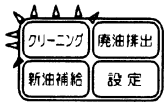
⇩

② POWER キーを押してください。

⇩

③ 機能キーを 1 回押し、

クリーニングを選択してください。



デジタル表示部に「クリーニング」と表示されます。

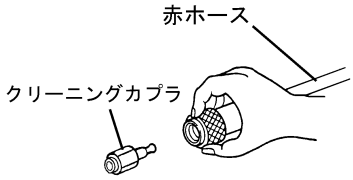
⇩

④ 確認キーを押してください。

音声 …クリーニングカプラに接続してください。

⇩

⑤ クリーニングカプラをツインホース赤側に接続してください。



⇩

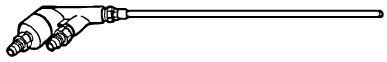
⑥ 運転キーを押してください。

⇩

⑦ ホース・配管内の新油を新油缶に回収する。

⇩

⑧ 自動で停止します。クリーニングカプラを外し、フレキシブルノズルを接続してください。



⚠ 注 意
・クリーニングを行う場合は、クリーニングカプラを必ず取付けてください。 異物などの混入により、故障の原因となります。

■廃油排出

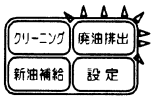
① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

⇩

② POWER キーを押してください。

⇩

③ 機能キーを 2 回押し

、廃油排出 

を選択してください。

デジタル表示に「ハイシュツ」と表示されます。

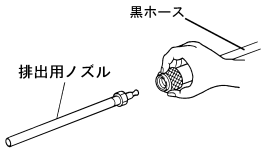
⇩

④ 確認キーを押してください。

音声 1 …ノズルを差替えてください。

音声 2 …運転キーで廃油排出を開始します。

⇩

⑤ ツインホース黒側を排出ノズルに差替え、 

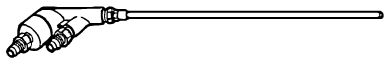
運転キーを押してください。

⇩

⑥ ***廃油を排出する。***

⇩

⑦ 廃油タンクが空になると自動で停止します。排出ノズルを外し、フレキシブルノズルを接続してください。

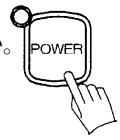


⚠ 注 意
⚠本機で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。廃油の処理は、適用される法令に従って処理してください。

■**新油補給**（この機能を使用するには、別売りのペールカバーが必要になります。）

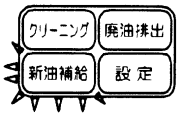
① 電源コードをコンセントに差込んでください。（ブザーが 1 秒間鳴る）

⇩

② POWER キーを押してください。 

⇩

③ 機能キーを 3 回押し、

新油補給 

を選択してください。

デジタル表示部に「ホキュウ」と表示されます。

ペールカバーを取り付けていない場合は、この状態は選択できません。

⇩

④ 確認キーを押してください。

音声 …ノズルを差替えてください。

⇩

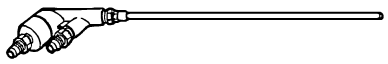
⑤ フィルタホースに差替え、運転キーを押してください。

⇩

⑥ ***新油を補給する。***

⇩

⑦ 新油缶が満量になると自動で停止します。フィルタホースを外し、フレキシブルノズルを接続してください。



⚠ 注 意
・新油補給を行う場合は、フィルタホースを必ず取付けてください。 異物などの混入により、故障の原因となります。

■設定

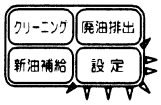
① 電源コードをコンセントに差込んでください。(ブザーが 1 秒間鳴る)

⇩

② POWER キーを押してください。

⇩

③ 機能キーを 3 回(または 4 回)押し、

設定 

を選択してください。

デジタル表示部に「セッテイ」と表示されます。

⇩

④ 確認キーを押してください。

⇩

⑤ 自動キー

で設定項目の選択 (P01～P09) をおこないます。

△▽キーで設定値の変更をおこないます。

完了キーを押すと

変更した内容を保存して終了します。

キャンセルキーを押すと

変更した内容を保存しないで終了します。

P01…初期設定量(デジタル表示「ショキチ」、初期値 7. 0)

循環モード・交互モードにおいて、交換量設定時に最初に表示される量を設定します。

3～20 L、1 L単位

P02…軽自動車初回抜取量(デジタル表示「ケイジドウシャ」、初期値 0. 2)

交互モードの軽自動車モードにおいて、最初に抜取る量を設定します。

0～1. 0 L、0. 1 L単位

P03…最少抜取量(デジタル表示「サイショウリョウ」、初期値 2. 0)

エラーE01において、エラーが発生するときの量を設定します。

0～10 L、1 L単位

P04…交互交換待機時間(デジタル表示「タイキジカン」、初期値 short)

交互モードでの待機時間を設定します。

設定量	設定値		
	short(短い)	middle(普通)	long(長い)
5 L未満	10秒	20秒	30秒
5 L以上	15秒	30秒	45秒

P05…ガイド音声ON/OFF（デジタル表示「オンセイ」、初期値 ON）

ガイド音声を発声させるか、させないかを設定します。

P06…エラー音声ON/OFF（デジタル表示「エラーオンセイ」、初期値 ON）

エラー発生時に音声を発声させるか、させないかを設定します。

P07…音声音量（デジタル表示「オンセイレベル」、初期値 7）

音声の音量を設定します。

1～10（音量を大きくしすぎると音われを起こすことがあります。）

P08…ブザー音量（デジタル表示「ブザーレベル」、初期値 7）

ブザーの音量を設定します。

1～10（音量を大きくしすぎると音われを起こすことがあります。）

P09…シグナルライト点灯ON/OFF（デジタル表示「シグナルライト」、初期値 ON）

シグナルライトを点灯させるか、させないかを設定します。

3-5-4. その他の機能

■運転中に新油缶が空になった場合

① ***自動運転が一時停止する。(ブザーが鳴る)。***

音声 …新油がなくなりました。

⇩

② 新油缶のセットの手順どおり、新油缶を交換してください。 (P3 新油缶のセット 参照)

⇩

③ 運転キーを押してください。

⇩

④ ***停止前の状態から継続。***

■運転中に廃油タンクが満量になった場合

① ***自動運転が一時停止する。(ブザーが鳴る)。***

音声 1 …廃油タンクが満量になりました。

音声 2 …廃油を排出してください。

⇩

② 廃油タンクの取出し・セットの手順どおり、廃油タンクを取出し廃油を排出してください。

(P3 廃油ﾀﾝｸの取出し・セット 参照)

⇩

③ 廃油タンクをセットしてください。

⇩

④ 運転キーを押してください。

⇩

⑤ ***停止前の状態から継続。***

NOTE

・運転中に新油缶が空になった場合、または廃油タンクが満量になった場合、エアの混入などにより交換量に誤差が生じます。新油補給・廃油排出を常に心掛けてください。

■運転中に電源プラグが抜けてしまった場合

① 電源プラグを差しなおしてください。

音声 …作業が中断されました。POWERキーを再開できます。

⇩

② POWERキーを押し、

続けて運転キーを押すと

再開します。

■作業を途中で中止したい場合

キャンセルキーを 2 秒以上押し続けます。

作業が中断されます。再開することは出来ません。

■総供給量の確認

POWER OFFの状態で確認キーを押すと、

ATFの総供給量を確認することが出来ます。

4. 保守・点検
4-1. 保守

⚠警 告

・ガソリンは高揮発性の液体です。洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の危険があります。洗油により洗浄しエアブローし乾かしてください。

⚠注 意

・本機の、保守・点検を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。感電の危険があります。
・本機はオイルなどによって汚れやすいので、常に清掃に心がけてください。
・操作パネルは、シンナーなど有機溶剤で洗浄しないでください。
・フィルターは、目づまりを起こさないように定期的に洗浄してください。
・フィルターを組み込む際は、フィルターおよびパッキンが溝から外れないように注意して、確実に締めてください。

フィルターの清掃手順

1) 新油用のサクションホースの先端に付いている
フィルターを洗浄してください。(Fig. 4-1)

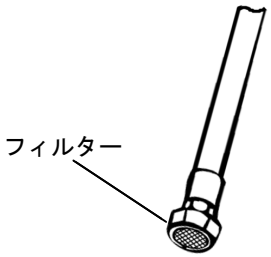


Fig. 4-1

2) 廃油用フィルターはフレキシブルノズルの基に付いていますので、
同じように外して清掃してください。(Fig. 4-2)

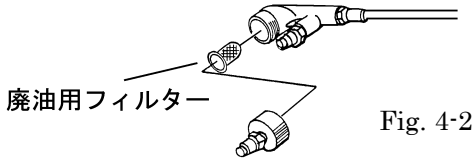


Fig. 4-2

シグナルライトランプ交換手順

1) シグナルライトカバーのネジを外してください。
2) カバーを矢印のように取外し、ランプを反時計回りに廻して取外し、新しいランプと交換してください。(Fig. 4-3)
3) カバーを分解の時と逆の要領で被せ、ネジで固定してください。
(ランプ仕様: 110V15W)

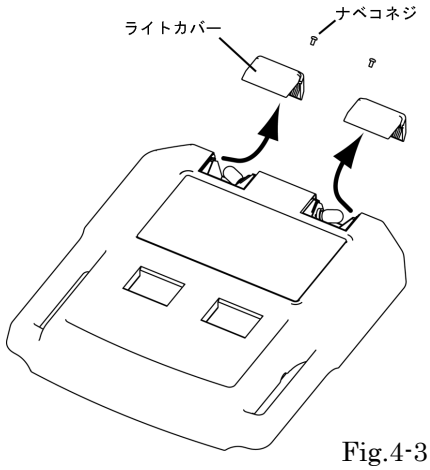


Fig.4-3

4-2. エラーコード

E01 【抜取異常】

〈出現場所〉

CVT モード

自動抜取終了時

〈検知条件〉

車側オイルパン内より廃油抜取終了時、抜取量が 2 L(変更可能) 以下であった場合。

〈検知理由〉

一般的な車輌では、エンジンオイルは 2 L 以上の量が入っているのが通常です。

自動抜取りが終了した時点で抜取量が 2 L 以下であった場合、ノズルの差込不良の可能性があるため確認します。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E01」⇔「ヌキトリイジョウ」
エラーブザー……鳴動
音声 ……廃油抜取量が規定量に達していません。
ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……点滅

〈原因〉

①ノズルの差込みが不充分であった。

②廃油フィルターにゴミが詰まっているため、オイルが流れない。

③オイルパンに、元々2 L 以下のオイルしか入っていなかった。

④レベルゲージの形状によりノズルが届かない。

〈復帰〉

①ノズルが液面に届くように差し直してください。

②廃油フィルターを洗浄して、ゴミを取除いてください。

運転キーを押すと、廃油の抜取りが再開されます。

ノズルを差し直したことによりノズルが液面に届き、再び廃油を抜取ることが出来た場合、抜取りを継続します。

元々③2 L 以下の量であった、または④ノズルを差し直しても液面に届かなかった場合、抜取りを終了し新油供給を開始します。

E02 【供給流量不足】【抜取流量不足】

〈出現場所〉

全般

新油供給中、廃油抜取中

〈検知条件〉

流量が約 200 mL/分 以下の場合。

〈検知理由〉

流量が少ないと流量計の精度が悪くなり、交換終了後の誤差が大きくなる可能性があるため。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E02」⇔「キョウキュウリョウ フソク」(供給時)
「E02」⇔「ヌキトリリョウ フソク」(抜取時)
エラーブザー……鳴動
音声 ……流量が不足しています。
オイルを温めてください。
シグナルライト:赤……点滅
運転 LED……点滅

〈原因〉

①新油または廃油の温度が低く粘度が高いため、流量が少ない。

②新油フィルターまたは廃油フィルターにゴミが詰まっていて、オイルが流れ難くなっている。

〈復帰〉

①エンジンアイドリングを充分に行い、油温を上げてください。

新油缶を温めて油温を上げてください。

②フィルターを洗浄して、ゴミ等を取り除いてください。

運転キーを押すと、新油供給または廃油抜取が再開されます。一定量(約200 mL/分)以上の流量を確認すると、エラー発生前の作動に戻ります。

その他の原因で流量が増加しない場合、再び E02 が検出されます。弊社サービス担当までご連絡ください。

E03 【抜取不可】

〈出現場所〉

全般

廃油抜取開始時

〈検知条件〉

抜取り開始しても、60 秒間廃油が抜けてこない場合。

〈検知理由〉

廃油が抜取れる状態（ノズル、油温等）にあるか確認する。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E03」⇔「ヌキトリ デキマセン」
エラーブザー……鳴動
音声 ……ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。
オイルを温めてください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……点滅

〈原因〉

①ノズルの差込みが不充分であった。

②廃油の温度が低く粘度が高いため、廃油を抜取れない。

③廃油フィルターにゴミが詰まっていて、流れなくなっている。

〈復帰〉

①ノズルが液面に届くように差し直してください。

②エンジンアイドリングを充分に行い、油温を上げてください。

③フィルターを洗浄して、ゴミ等を取り除いてください。

運転キーを押すと、廃油抜取が再開されます。廃油の抜取を確認すると、エラー発生前の作動に戻ります。

その他の原因で廃油を抜取ることが出来ない場合、再び E03が検出されます。弊社サービス担当までご連絡ください。

※車種によっては、レベルゲージ形状によりノズルが届かない場合があります。

E04 【抜取異常】

〈出現場所〉

交互モード

廃油抜取中

〈検知条件〉

新油供給後廃油抜取中に既定量(800 mL または 1000 mL)の廃油を抜くことができなくなった場合。

〈検知理由〉

既定量の廃油が抜取れる状態にあるか確認する。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E04」⇔「ヌキトリ イジョウ」
エラーブザー……鳴動
音声 ……ノズルをレベルゲージ穴に確実に入れてください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……点滅

〈原因〉

①レベルゲージの形状によりノズルの差し込みが不充分であるため新油供給量と同量の廃油を抜くことができなかった。

②ノズル差込み後、ノズルのズレにより差し込みが不充分になった。

③廃油フィルターにゴミが詰まっていて、オイルが流れなくなっている。

〈復帰〉

②ノズルが液面に届くように差し直してください。

③フィルターを洗浄して、ゴミ等を取り除いてください。

運転キーを押すと、廃油抜取が再開されます。廃油の抜取を確認すると、エラー発生前の作動に戻ります。

その他の原因で抜取ることが出来ない場合、再びE03が検出されます。弊社サービス担当までご連絡ください。

※車種によっては、レベルゲージ形状によりノズルが届かない場合があります

E05【設定エラー】

〈出現場所〉

循環モード

廃油抜取後　新油供給後

〈検知条件〉

設定量≦車側オイルパン内廃油抜取量の場合。

設定量≦新油供給量の場合。

〈検知理由〉

車輌のオイルパン内オイル量に対して、設定量に問題がないか確認する。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E05」⇔「セッテイ エラー」
エラーブザー……鳴動
音声 ……設定量を変更してください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……消灯

〈原因〉

廃油抜取終了時、廃油抜取量が設定量を超えていた。

例）設定量 7.0 L 設定時、廃油抜取量 7.8 L（7.0 L 以上）で設定量を超えてしまった。

廃油抜取後、「廃油抜取量+同量制御チェック用余分新油量 0.2 L 」の新油を供給した結果、その供給量が設定量を超えていた。

例）設定量 7.0 L 設定時、廃油抜取量 6.9 L したがって新油供給量 6.9+0.2=7.1 L で設定量を超えてしまった。

〈復帰〉

△ キーにて設定量をセットし直す。

量決定キーを押す。

運転キーを押すと新油供給が開始されます。（抜取終了時）

運転キーを押すと同量制御が開始されます。（供給終了時）

E07【抜取流量不足】

〈出現場所〉

循環モード

同量制御チェック

〈検知条件〉

流量が約 200 mL/分 以下の場合。

〈検知理由〉

流量が少ないと流量計の精度が悪くなり、交換後の誤差が大きくなる可能性があるため。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E07」⇔「ヌキトリリョウ フソク」
エラーブザー……鳴動
音声 ……オイルを温めてください。
カプラの接続を確認してください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……点滅

〈原因〉

①廃油の温度が低く粘度が高いため、流量が少ない。

②自動バルブフィルターにゴミが詰まっていて、流れ難くなっている。

③自動バルブおよび循環用接続ホースが正しくセットされていないため、漏れが生じている。

〈復帰〉

①エンジンアイドリングを充分に行い、油温を上げてください。

②フィルターを洗浄して、ゴミ等を取り除いてください。

③自動バルブおよび循環用接続ホースをセットし直してください。

運転キーを押すと、廃油抜取が再開されます。一定量(約 200 mL/分)以上の流量を確認すると、エラー発生前の作動に戻ります。

その他の原因で流量が増加しない場合、再び E07 が検出されます。弊社サービス担当までご連絡ください。

E08【抜取不可】

〈出現場所〉

循環モード

同量制御開始時

〈検知条件〉

同量制御開始しても 60 秒間廃油が流れてこない場合。

〈検知理由〉

廃油が抜取れる状態にあるか確認する。

〈表示・音声〉

デジタル表示……「E08」⇔「ホースセツゾク イジョウ」
エラーブザー……鳴動
音声 ……エンジンのアイドリングを開始してください。
カプラの接続を確認してください。
シグナルライト:赤……点滅
運転LED……点滅

〈原因〉

①エンジンアイドリングをしないまま 60 秒経過してしまった。

②フィルターにゴミが詰まっていて、流れなくなっている。

③自動バルブおよび循環用接続ホースが正しくセットされていないため、廃油が流れてこない。

〈復帰〉

①エンジンアイドリングを開始してください。

②フィルターを洗浄して、ゴミ等を取り除いてください。

④自動バルブおよび循環用接続ホースをセットし直してください。

運転キーを押すと、廃油抜取りが再開されます。廃油の抜取りを確認すると、エラー発生前の作動に戻ります。
その他の原因で抜取ることが出来ない場合、再び E08が検出されます。弊社サービス担当までご連絡ください。

⚠ 注意

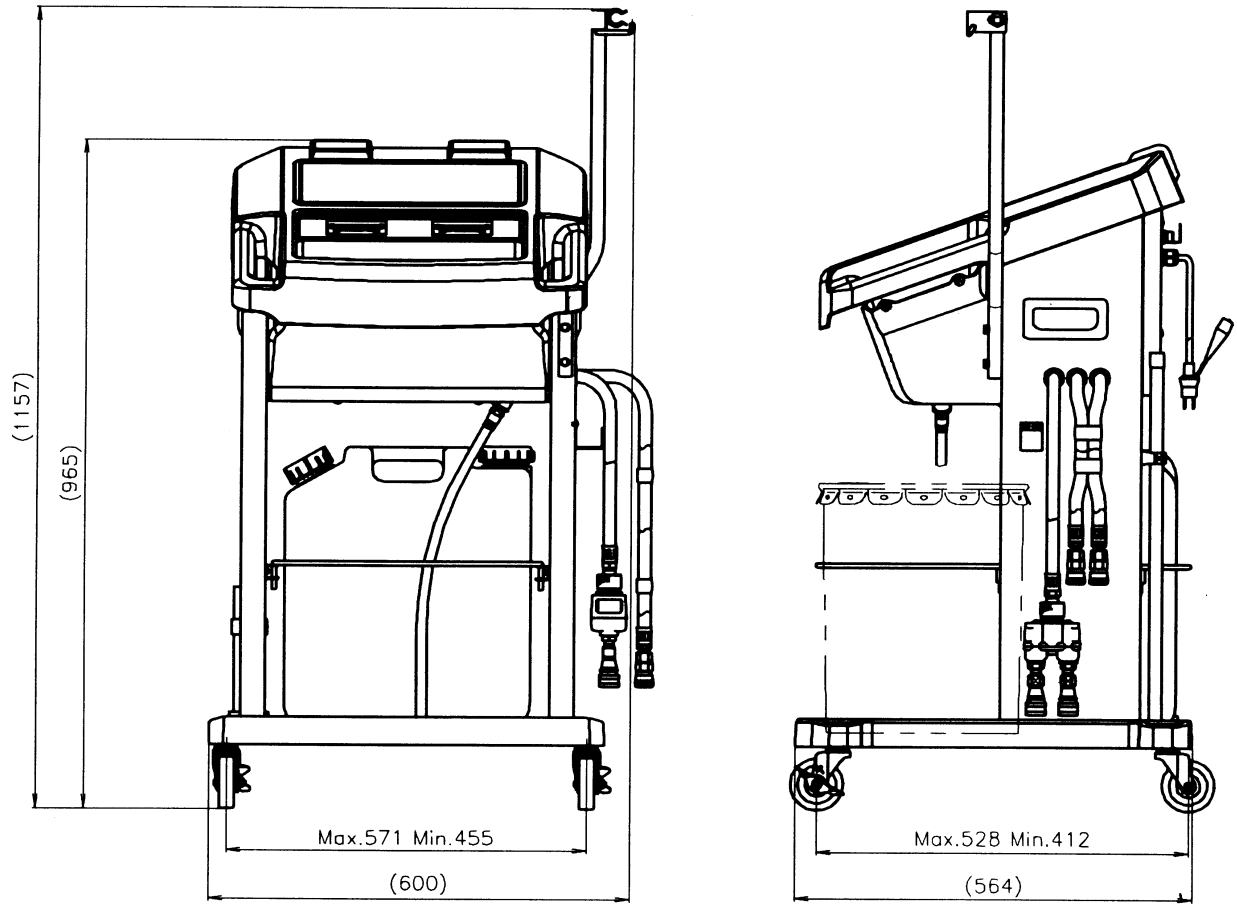
・基本的にどのエラーも、エラーの発生した原因を取り除いた後、運転キーを押すことによって、エラーが発生した所から続けて再開することができます。
・ただし、作動途中でエラーが発生した場合は、交換量の誤差が大きくなる可能性があるので注意してください。

4-3. 故障の原因とその対策

状 況	原 因	対 策
電源が入らない、または操作できない。	①差込プラグがコンセントに正しく入っていない。	・ 差込プラグを確実にコンセントに差し込んでください(AC100V)。
	②元電源に AC100V がきていない。	・ 元電源の確認をしてください。 (AC100V±20V 50/60Hz)
	③ヒューズが切れている。	・ ヒューズを交換してください(7A ロング)。
	④前回の交換作業中に差込みプラグがコンセントから外れた。	・ 作業を継続したい場合は、運転キーで再開してください。 ・ 作業をやめたい場合は、キャンセルキーを 2 秒間押しつづけて作業を中断してください。
	⑤制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
スピーカー、ブザーが鳴らない。	① 鳴らなく設定されている。	・ 設定を変更してください。
	② スピーカ・ブザーの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
	③ 制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
シグナルライトが点灯しない。	① 点灯しないように設定されている。	・ 設定を変更してください。
	② ランプが切れている	・ ランプを交換してください。(110V15W)
	③ 制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
廃油の抜取りが遅い、または抜取らない	① 廃油側フィルターの目づまり。	・ フィルターを清掃してください。
	② 油温が低く、粘度が高いため流量が少ない。	・ 車のエンジンを始動させ、5～10 分程アイドリングを行い、油温を充分上昇させてください。(50～80℃)
	③ オイルが漏れている。 エアが混入している。	・ フィルターキャップが正しく取付けされていない。 ・ 弊社営業所まで連絡してください。
	④ フレキシブルノズルの差込みが不充分である。	・ フレキシブルノズルを確実にオイルパン底部まで挿入してください。
	⑤ 廃油ホース(ツインホース黒)のカプラが正しく装着されていない。	・ 廃油ホース(ツインホース黒)のカプラを確実に装着してください。
	⑥ 廃油タンクが満量になっている。	・ 廃油を排出してください。
	⑦ 廃油タンク上限センサーがコネクタに正し取付けられていない。	・ 上限センサーを正しく取付けてください。
	⑧ ポンプ、電磁弁、制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
新油の供給が遅い、または供給しない	① 新油側フィルターの目づまり。	・ フィルターを清掃してください。
	② 油温が低く、粘度が高いため流量が少ない。	・ 油温を上昇させてください。
	③ オイルが漏れている。 エアが混入している。	・ フィルターキャップが正しく取付けされていない。 ・ 弊社営業所まで連絡してください。
	④ 新油缶が空。	・ 新油缶を交換してください。
	⑤ 新油ホース(ツインホース赤)のカプラが正しく装着されていない。	・ 新油ホース(ツインホース赤)のカプラを確実に装着してください。
	⑥ ポンプ、電磁弁、制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。
廃油排出が遅い、または排出しない	①廃油ホース(ツインホース黒)に排出用ノズルが正しく装着されていない。	・ 廃油ホース(ツインホース黒)に排出用ノズルを確実に装着してください。
	②廃油タンクが空。	―――――――――
	③ポンプ、電磁弁、制御ユニットの故障。	・ 弊社営業所まで連絡してください。

新油補給が遅い、または補給しない。	①新油ホース(ツインホース赤)に補給ノズル・フィルタアダプタが正しく取付けられていない。	・新油ホース(ツインホース黒)に補給ノズル・フィルタアダプタを確実に装着してください。
	②油温が低く、粘度が高いため流量が少ない。	・油温を上昇させてください。
	③新油補給元が空。	・新油補給元のオイルを補充してください。
	④新油缶上限センサーがコネクタに正し取付けられていない。	・上限センサーを正しく取付けてください。
	⑤ポンプ、電磁弁、制御ユニットの故障。	・弊社営業所まで連絡してください。

5.主要寸法

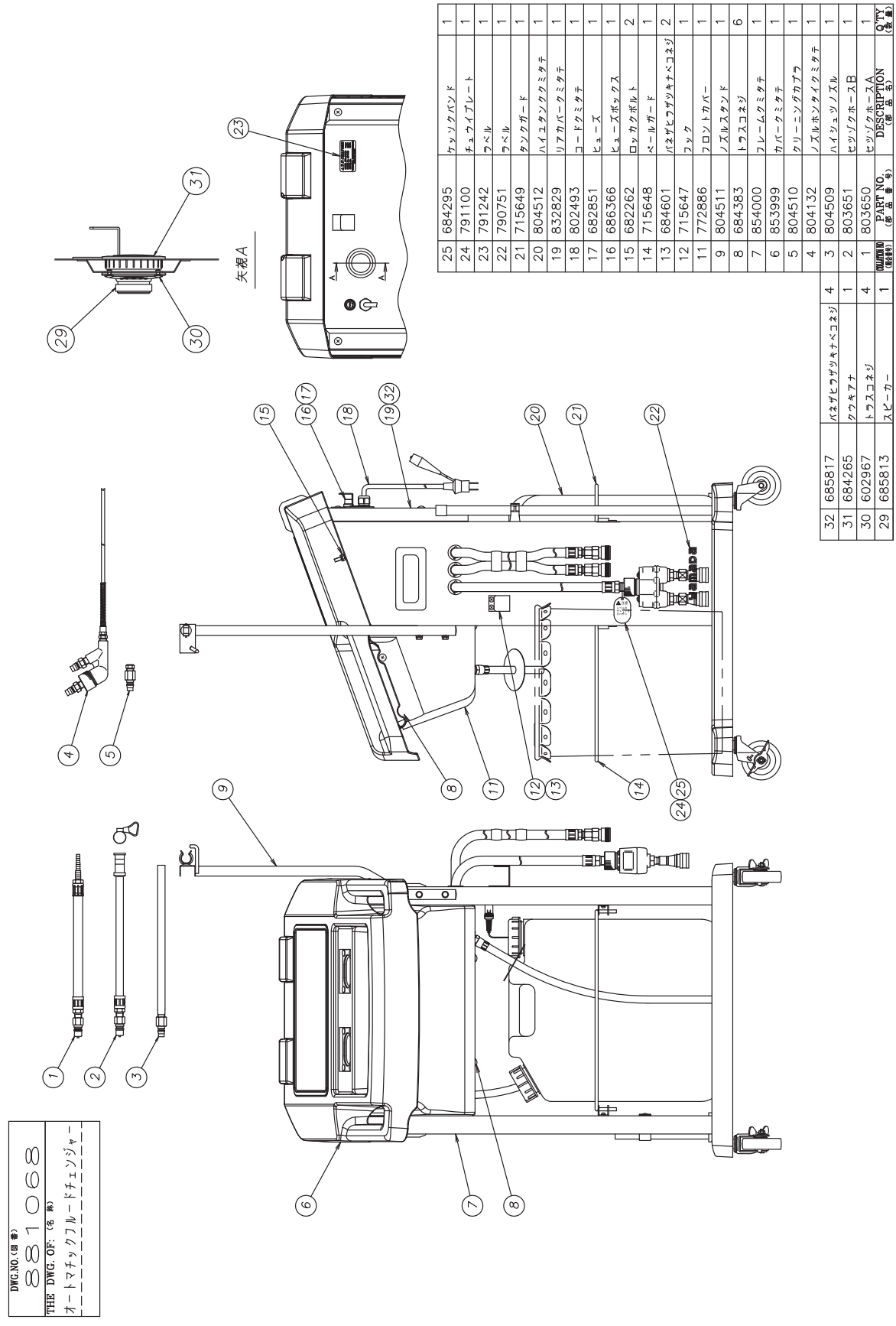


6. 仕様

名 称	オートマチックフルードチェンジャー	
型 式	AFC－9000S	
製品番号	881068	
仕 様	機 能	①循環モード ②交互モード ③CVTモード ④手動作動 ・新油供給 ・廃油抜取 ⑤機能 ・クリーニング ・廃油排出 ・新油補給(別売り新油缶用フタ取付時) ・設定
		定量方式:流量計測(パルスカウント方式)
		液面管理:オイルセンサー 廃油タンク満量時:警告LED表示(廃油排出)、ブザー警告 新油補給時 :警告LED表示(新油補給)、ブザー警告
		設 置:可搬式
	性 能	新油供給量:ATF…2.2 L/min 、エンジンオイル…0.8 L/min (ノズル φ4.5×φ6×L1200) 油温 20℃
		廃油抜取量:ATF…1.4 L/min 、エンジンオイル…0.5 L/min (ノズル φ4.5×φ6×L1200) 油温 50℃
		廃油排出量:ATF…3.0 L/min 、エンジンオイル…1.0 L/min (ノズル φ10×φ14×L300) 油温 20℃
	電 源	AC100V±20V 50/60 Hz
	ポンプ	トロコイドポンプ 2 基 吐出量(単独作動時):3.7 L/min(50 Hz) 4.5 L/min(60 Hz) 0.5 MPa リリーフバルブ付
		モータ:種類…コンデンサ型 E 種絶縁、定格…連続 電圧…AC100V 50/60 Hz 75 W
	タンク	廃油:専用タンク 18 L 新油:市販 20 L ペール缶、4 L 缶、他樹脂容器等
	ホース	新油・廃油 ツインホース 2 m(φ9.5×φ17) 廃油ホース(自動バルブ) 2 m(φ9.5×φ17)
	使用温度範囲	0 ～ 40℃ (作業環境温度)
	寸 法	H 1157×W 600×D 564
	質 量	約 49 kg(ただし、廃油タンク空、新油缶無しの時)
	付属品	フレキシブルノズル φ4.5×φ6×1200mm 1 本 廃油排出ノズル φ10×φ14×300 ㎜ 1 本 循環用接続ホース 2 種類各 1 本(計 2 本) クリーニングカプラ 1 個 ノズルスタンド 1 個 ネジ M4×L8 2 個

7. 部品リスト

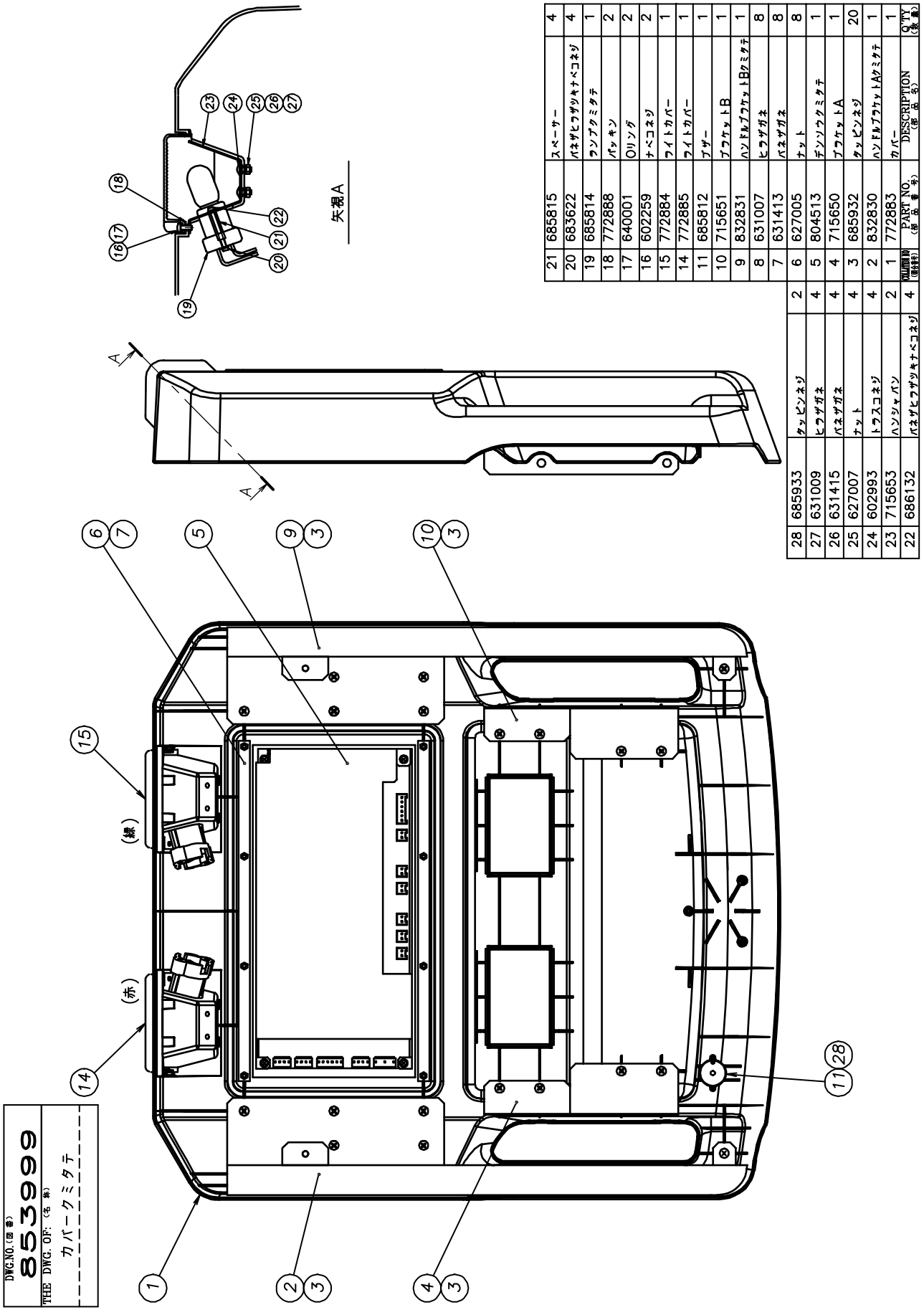
7-1.オートマチックフルードチェンジャー(881068)



	PART NO. (部品番号)	Q'TY (数量)	DESCRIPTION (部品名)
25	684295	1	ケッソクバンド
24	791100	1	チュウイプレート
23	791242	1	ラベル
22	790751	1	ラベル
21	715649	1	タンクガード
20	804512	1	ハイエタンククミタテ
19	832829	1	リアカバークミタテ
18	802493	1	コードクミタテ
17	682851	1	ヒューズ
16	686366	1	ヒューズボックス
15	682262	2	ロッカクボルト
14	715648	1	ベールガード
13	684601	2	バネザヒラザッキナベコネジ
12	715647	1	フック
11	772886	1	フロントカバー
9	804511	1	ノズルスタンド
8	684383	6	トラスコネジ
7	854000	1	フレームクミタテ
6	853999	1	カバークミタテ
5	804510	1	クリーニングカプラ
4	804132	1	ノズルホンタイクミタテ
3	804509	1	ハイシュツノズル
2	803651	1	セッソクホースB
1	803650	1	セッソクホースA

	PART NO. (部品番号)	Q'TY (数量)	DESCRIPTION (部品名)
32	685817	4	バネザヒラザッキナベコネジ
31	684265	1	クウキアナ
30	602967	4	トラスコネジ
29	685813	1	スピーカー

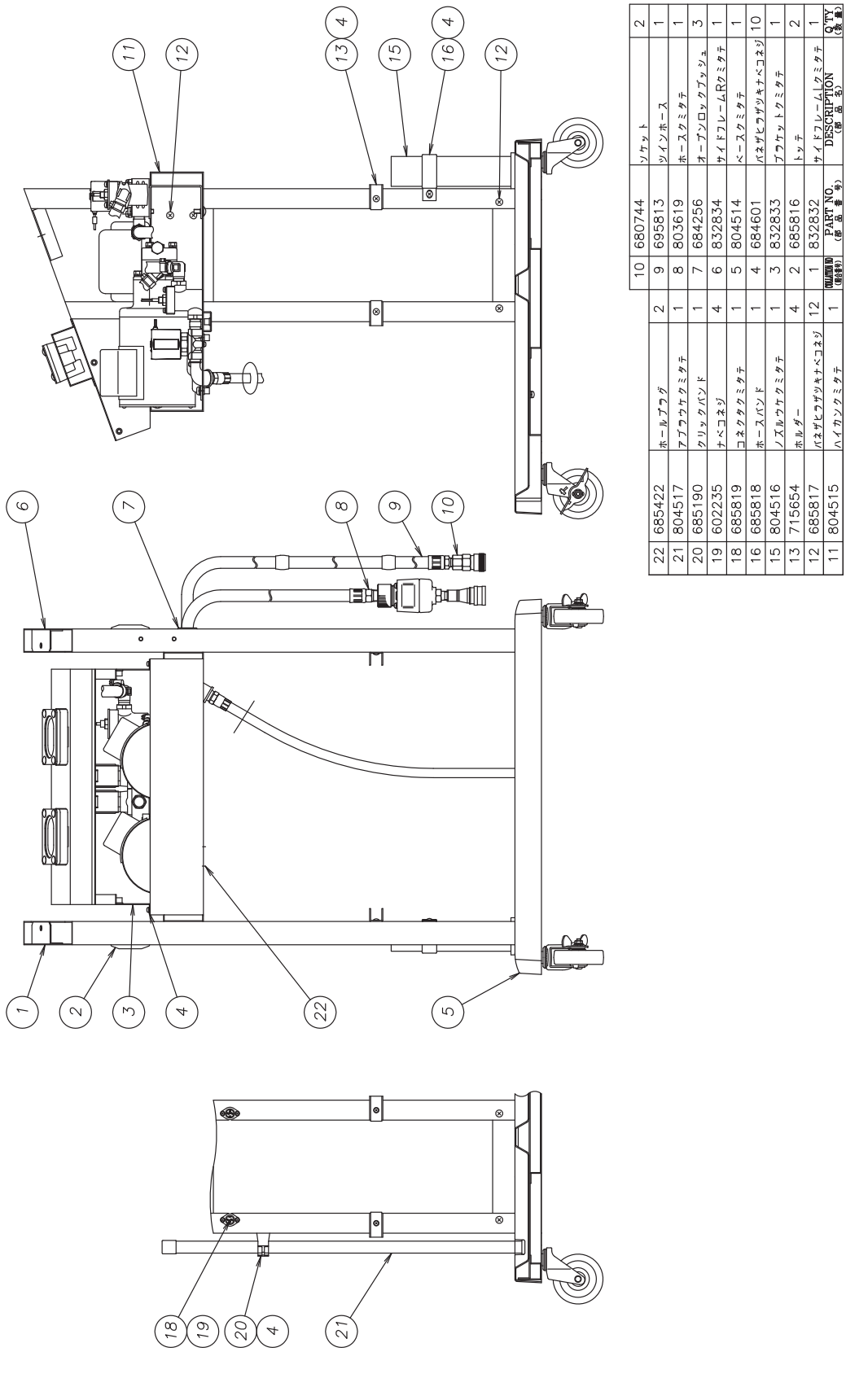
7-2.カバー組立(853999)



21	685815	スペーサー	4		
20	683622	バネザヒラザッキナベコネジ	4		
19	685814	ランプクミタテ	1		
18	772888	パッキン	2		
17	640001	Oリング	2		
16	602259	ナベコネジ	2		
15	772884	ライトカバー	1		
14	772885	ライトカバー	1		
11	685812	ブザー	1		
10	715651	ブラケットB	1		
9	832831	ハンドルブラケットBグミタテ	1		
8	631007	ヒラザガネ	8		
7	631413	バネザガネ	8		
6	627005	ナット	8		
5	804513	テンソウクミタテ	1		
4	715650	ブラケットA	1		
3	685932	タッピンネジ	20		
2	832830	ハンドルブラケットAグミタテ	1		
1	772883	カバー	1		
PLUTO 10 (標準材料)	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)	Q'TY (数量)		

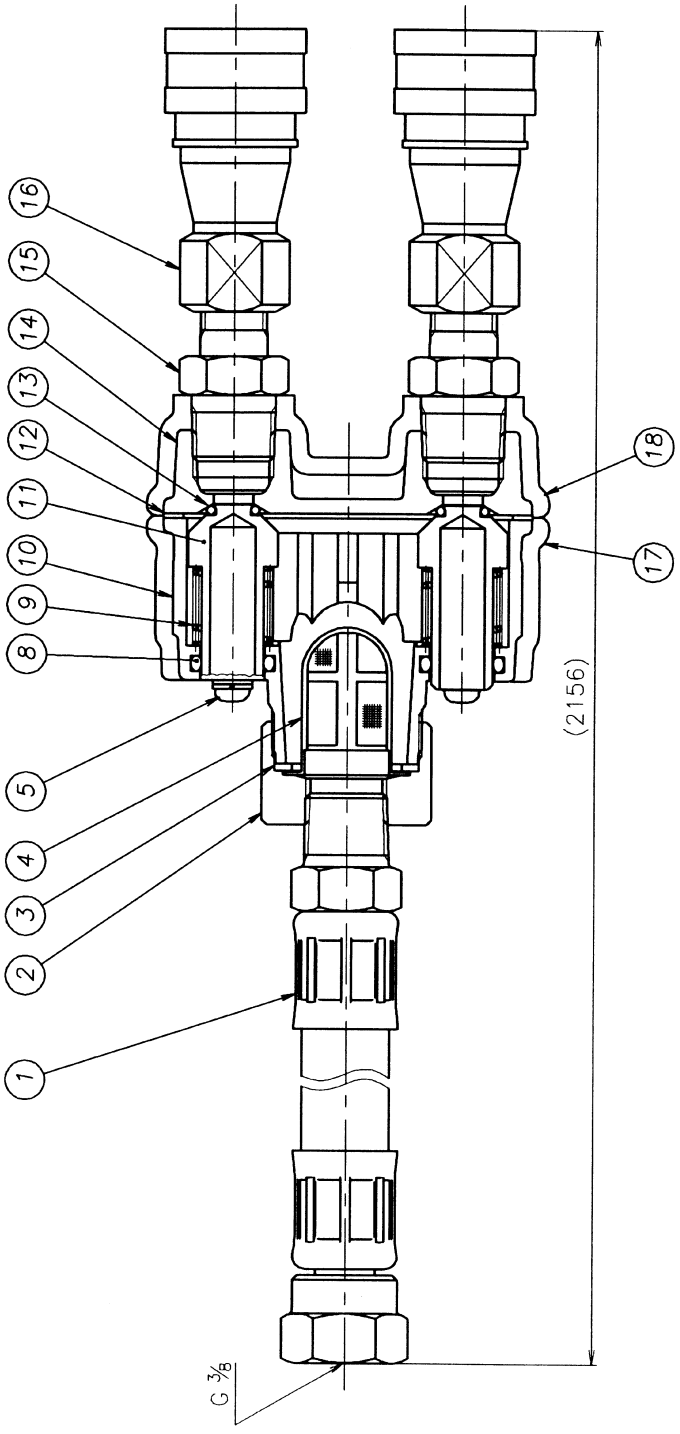
28	685933	タッピンネジ	2		
27	631009	ヒラザガネ	4		
26	631415	バネザガネ	4		
25	627007	ナット	4		
24	602993	トラスコネジ	4		
23	715653	ハンシャバン	2		
22	686132	バネザヒラザッキナベコネジ	4		

7-3.フレーム組立(854000)



22	685422	ホールプラグ	2	
21	804517	アブラウケクミタテ	1	
20	685190	クリックバンド	1	
19	602235	ナベコネジ	4	
18	685819	コネクタクミタテ	1	
16	685818	ホースバンド	1	
15	804516	ノズルウケクミタテ	1	
13	715654	ホルダー	4	
12	685817	バネザヒラザッキナベコネジ	12	
11	804515	ハイカンクミタテ	1	
10	680744	ソケット	2	
9	695813	ツインホース	1	
8	803619	ホースクミタテ	1	
7	684256	オープンロックブッシュ	3	
6	832834	サイドフレームRクミタテ	1	
5	804514	ベースクミタテ	1	
4	684601	バネザヒラザッキナベコネジ	10	
3	832833	ブラケットクミタテ	1	
2	685816	トッテ	2	
1	832832	サイドフレームLクミタテ	1	
NUMBER (番号)	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)	Q'TY (数量)	

7-4.ホース組立(803619)

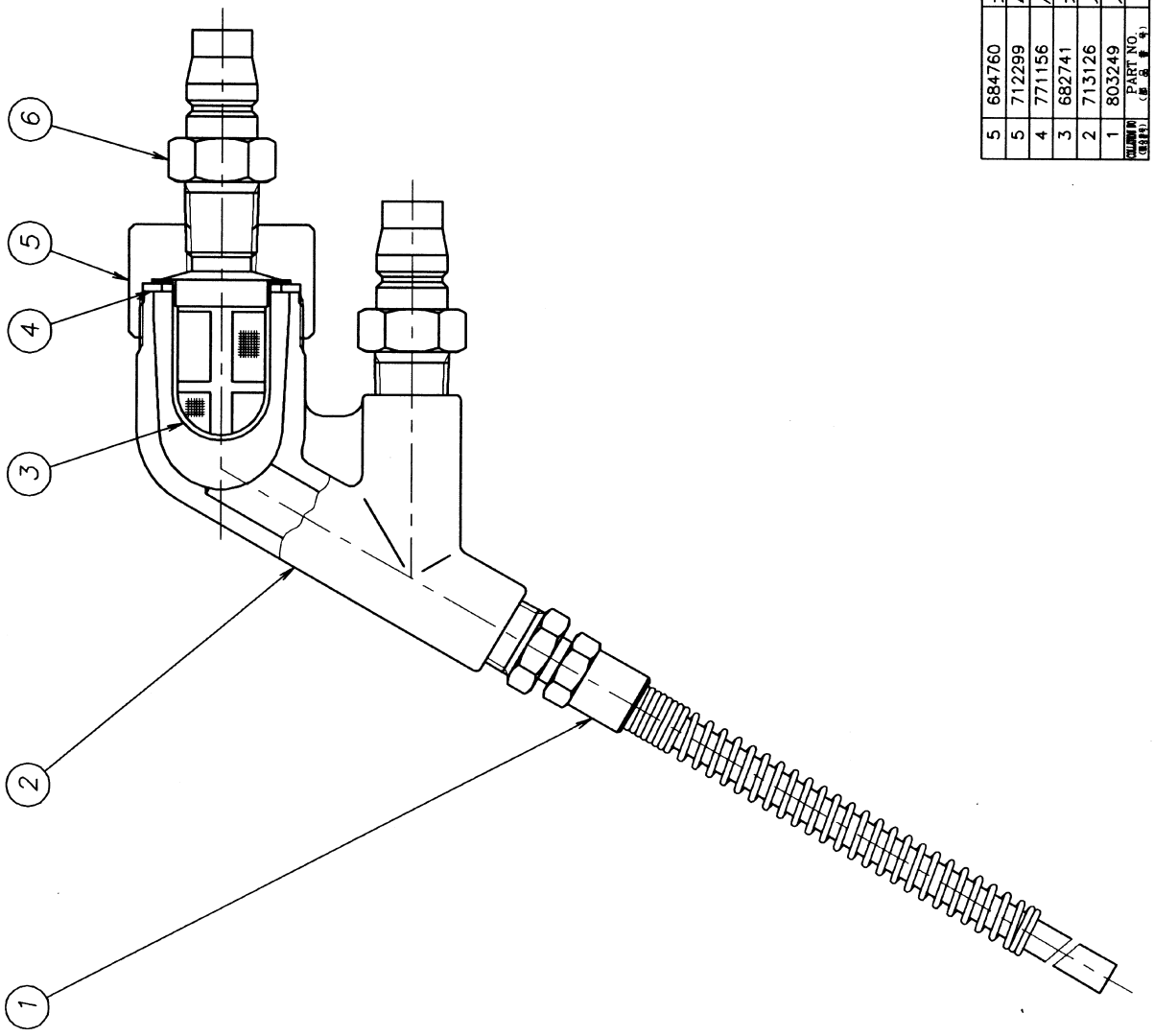


10	713133	ボディ		1
9	683439	スプリング		2
8	640012	Oリング		2
	7			
	6			
5	683445	バイオセンサホルダ		4
4	682741	フィルター		1
3	771156	パッキン		1
2	712110	キャップ A		1
1	695536	ホース		1
QUANTITY (数量)	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)		QTY (数量)

18	772033	バルブカバーB	1
17	772032	バルブカバーA	1
16	682410	ソケット	2
15	705326	ニップル	2
14	713135	キャップ	1
13	640002	Oリング	2
12	772031	ガスケット	1
11	713134	ピストン	2

DWG.NO.(図番)
803619
THE DWG. OF: (名称)
ホースクミタテ

7-5.ノズル本体組立(803132)



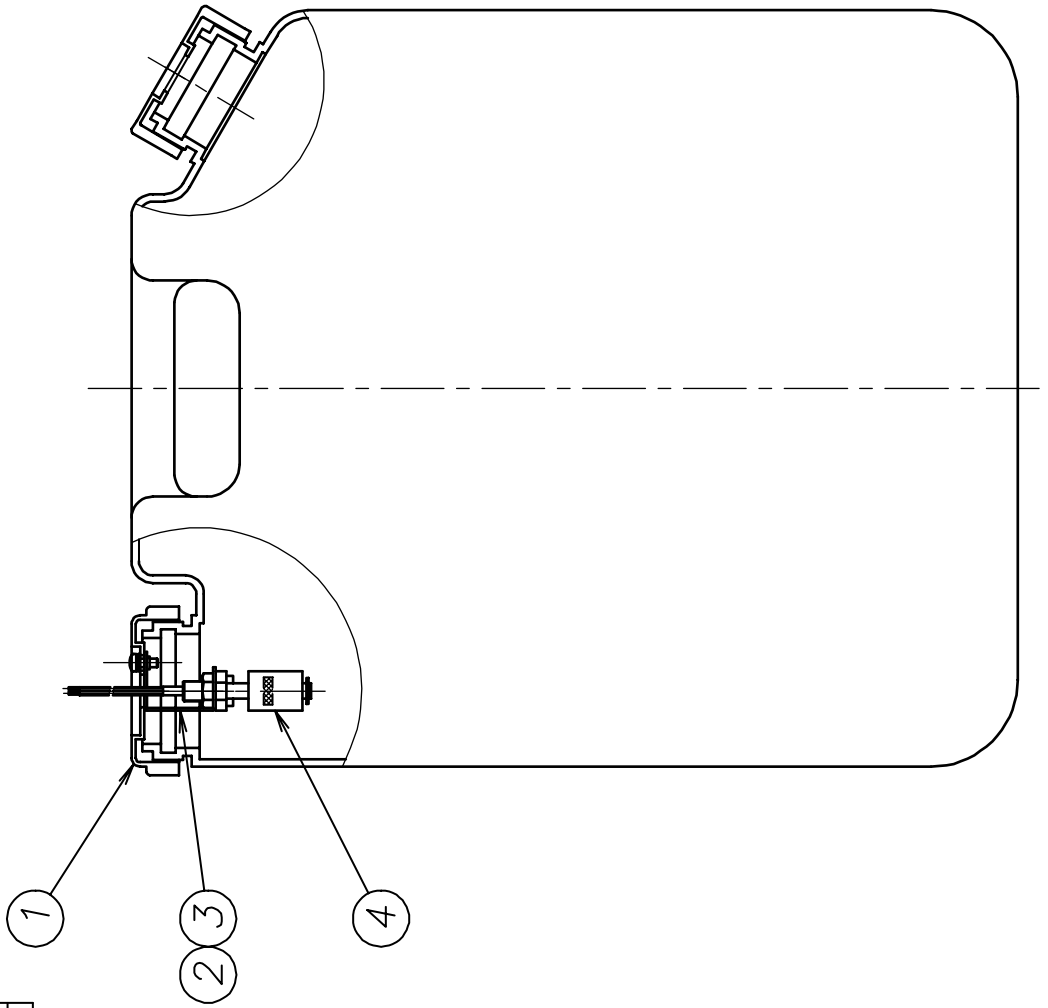
5	684760	プラグ	2
5	712299	キャップ	1
4	771156	パッキン	1
3	682741	フィルター	1
2	713126	ノズルホンタイ	1
1	803249	ノズルクミタテ	1
ITEM NO.	PART NO.	DESCRIPTION	Q'TY

DWG.NO. 803132

THE DWG. OF: ノズルホンタイクミタテ

7-6.廃油タンク組立(804512)

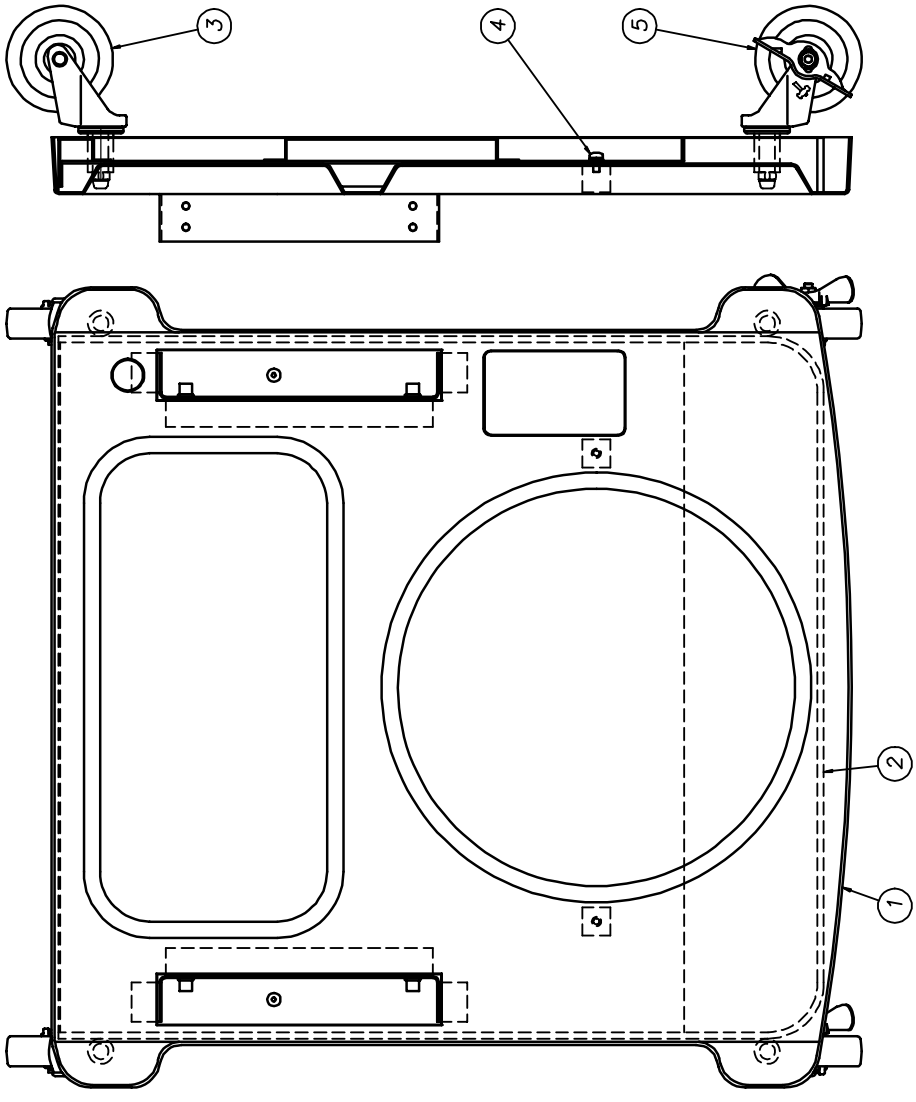
ITEM NO. (部品番号)	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)	QTY (数量)
4	685822	オーバーフローセンサーブラケテ	1
3	684160	パネアセフザツキナベコネジ	1
2	715657	ホルダー	1
1	715656	ポリタンク	1



DWG.NO.(図番) 804512
THE DWG. OF: (名称) ハイユタンククミタテ

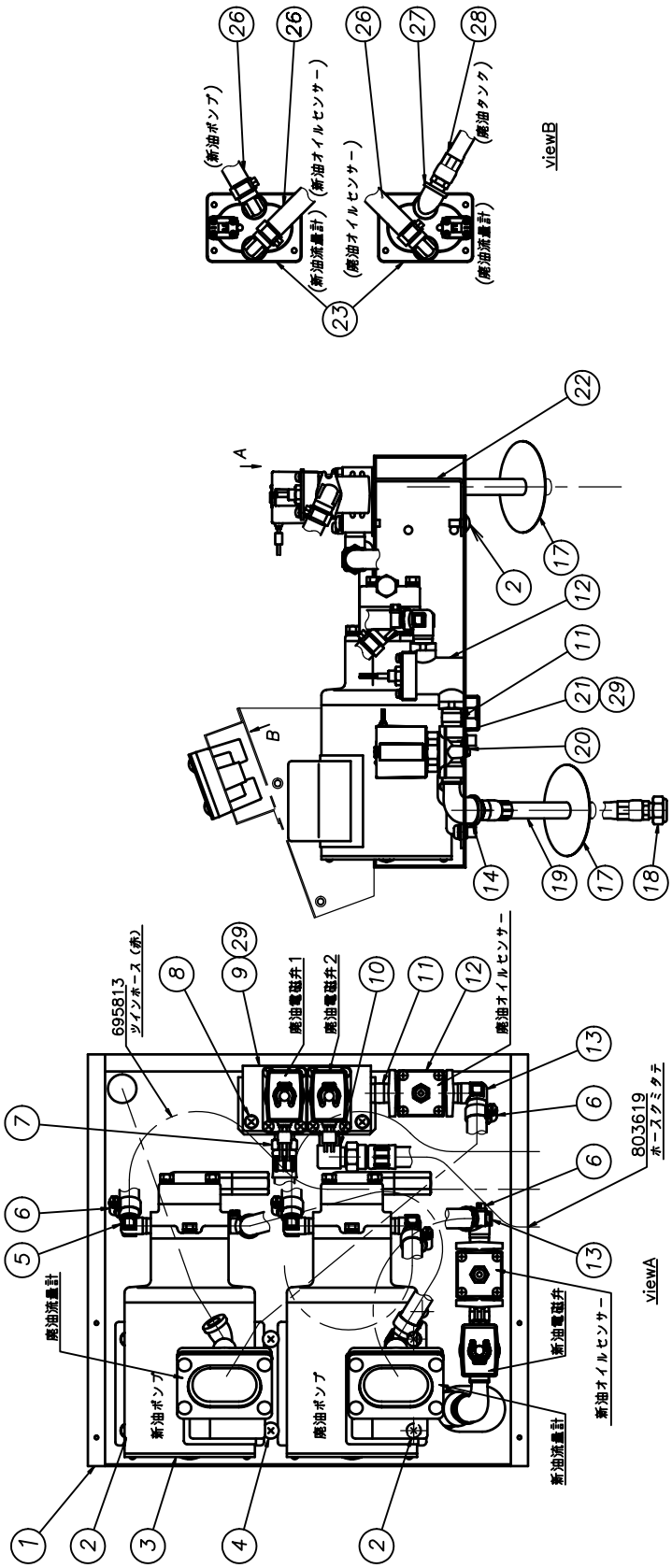
7-7.ベース組立(804514)

NO.	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名称)	Q'TY (数量)
5	685836	キャスターブレーキツキ	1
4	683347	バネザヒラザシキナベコネジ	1
3	685835	キャスター	1
2	832837	ベースクミタテ	1
1	832836	ベースカバークミタテ	1



DWG.NO.(図番)
804514
THE DWG. OF: (名称)
ベースクミタテ

7-8.配管組立(804515)



DWG.NO.(図番)
804515
THE DWG. OF: (名称)
ハイカンクミタテ

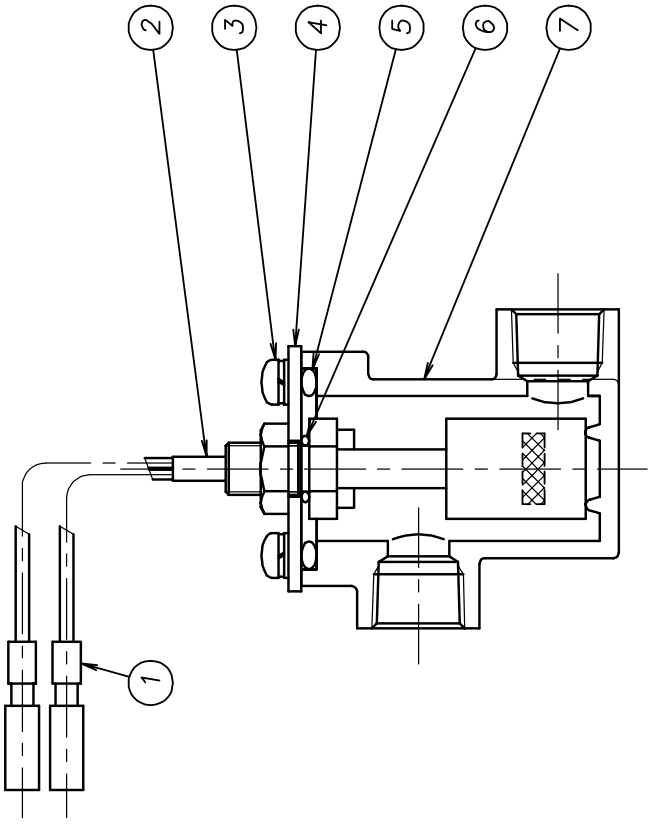
29	685482	ピンタンシ	6
28	695815	ホース	1
27	634031	ストリートエルボ	1
26	685832	ホース	3
23	804135	リョウリョウケイクミタテ	2
22	715659	プラケット	1

21	685829	チンジベン	1
20	683606	バネザヒラザツキナベコネジ	2
19	695871	ホース	1
18	685913	フィルター	1
17	772916	パッキン	2
16			
15			
14	634032	ストリートエルボ	1
13	685828	エルボタケノコ	2
12	804518	オイルセンサークミタテ	2
11	634803	バレルニップル	2

10	680617	エルボ	1
9	685827	チンジベン	1
8	683625	バネザヒラザツキナベコネジ	2
7	695814	ホース	1
6	684259	ジョビリーバンド	9
5	685826	エルボタケノコ	7
4	684383	トラスコネジ	2
3	685192	ポンプ	2
2	685817	バネザヒラザツキナベコネジ	6
1	715658	ポンプベース	1
QUANTITY (個数)	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)	Q'TY (数量)

7-9.オイルセンサー組立(804518)

番号	PART NO. (部品番号)	DESCRIPTION (部品名)	Q'TY (数量)
7	715700	センサーケースC	1
6	640005	Oリング	1
5	640029	Oリング	1
4	712305	センサーコネクタ	1
3	684160	パネッセラサンキナベコネジ	4
2	685589	フロートスイッチ	1
1	685482	ピンタンジ	2



DWG.NO.(図番) 804518

THIS DWG. OF: (名称) オイルセンサークミタテ

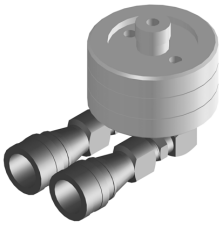
8. 別売りオプションアタッチメント

ペールカバー(804533)

ホンダ専用ノズルオサエ(771782)

ダイレクトアダプタ(804532)

軽自動車用ノズル(685255)



クリーニングキット(SP-3246)

防塵カバー(772911)

9. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____
フリガナ ご住所 _____ _____	 ご所属 _____ ご連絡先 Tel. （ ）_____－_____ Fax. （ ）_____－_____
製品名	型式
使用期間 20 年 月 ～ 年 月	SERIAL No. （LOT No.）
運転頻度 □連続 □断続 hr／日･週･月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

10. 製品保証登録 FAX シート

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

製品保証登録 FAX シート

フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel. （　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax. （　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.バルブ

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本機をお知りになったきっかけを〇で囲んでください。

新聞	1.日刊工業新聞	2.日本工業新聞		3.日経産業新聞
	4.日刊自動車新聞	5.燃料油脂新聞		6.その他の新聞
雑誌	7.IEN	8.化学装置	9.IPG	10.その他の雑誌
	11.販売員に薦められて	12.展示会		13.カタログで

ご購入年月日	＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL No.		
LOT No.		

宛先　**株式会社 ヤマダコーポレーション**
営業部　製品保証登録係
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

11.保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

（控）

型 式	
製 造 番 号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门	TEL 86-21-3895-36

201303 AUT039C